



地域デビューでまちづくり.....

FRONTIER

ボランティアを通しての交流

千 葉ニュータウン。都内から電車で1時間圏内、これだけの里山が残っているところは珍しく、「住み良い街」のアンケートでは、全国で57番目、千葉県では成田市に次いで2番目になっている。環境が良く、子育て、自然を愛する人たちには最良の地だろう。

しかし、移り住んだは良いが、通勤は都内（いわゆる千葉都民）、なかなか友達は出来ないのが実情であり、まして在来の人たちと交流する機会はほど遠いものである。

子育て中の若奥さんなどは、子どもを通して親交を深めていくことができるが、そうでない人々は近所だけの表面的な付き合いでしかなく、ましてマンションなどに住んでいると上下階の人々とも交流が薄い。せっかく移

り住んできて、人々との交流がないのは寂しいものである。

在来の人々は、住民組織の基盤が確立されているため、昔から深い付き合いがあるが、ニュータウンに住む新住民は、いわば寄せ集めであり、他人事に我関知せずといった風潮が強い。困っている人たちのために何かをしてあげるといのは、共同社会において当たり前のルールであるが、経済成長と引き替えに失ってしまったというのも事実でなかろうか。

白 井市で活動しているボランティア団体は、いろいろな分野で数も多く、それぞれが持ち味を生かし社会貢献活動を行っている。しかし、悩みもある。多くのボランティア団体は、団塊世代や戦中派の人たちが中心になっており、どの団

体も若返りを試み、後継者を育てていかなければならないという時期に来ている。団塊世代などの人たちと若い人たちとのコラボレーションが強く望まれているが、団体側にも若い人たちが活動しやすい場を提供するなど、前向きな努力が必要であり、そうでなければ、自己満足だけの仲良しグループに終わってしまうことだろう。

若 い人たちの参加により、団体はより一層の活性化が進み、若い人たちが率先して団体を盛り上げ、引っ張っていくことで、新たな

生き甲斐ややり甲斐が生まれてくる。また、団塊の人たちの豊富な経験を吸収するといったメリットもある。会社の延長ということを引きずらず、協調性を持って接すると、皆快く受け入れてくれるはずである。ボラン



子どもたちとの触れ合いに、我々は元気をもらう

ティア活動は上下関係がなく皆平等なのだから。もちろん若い人たちだけではなく、団塊世代の人たちの参入も歓迎である。

とは言うものも、いざボランティアを始めたいと思っても、一人では門は叩きにくく、二の足を踏んでいる方も少なからずである。そんなときの強力スタッフが推進センターのメンバーであり、親切に相談ののってくれることを覚えておいて欲しい。

我々の住む素晴らしい白井は、一人一人が自覚を持って自分たちの手で守り、次の世代に引き継いで行かなければならないということを、深く認識しなければならない。

（松山倫政・記）

お子さんと一緒に楽しみませんか？



白井市手話サークル「梨の実」	手話通訳・手話教室・基礎講座などを開催
ふれあいカフェテラス「おあしす」	世代間を越えたふれあいと子育て支援
ボランティアグループ緑の風	おもちゃの図書館・手作りおもちゃ教室を開催
EM白井野菜の会	EM菌を活用した「環境にやさしいプール清掃」に取り組む
NPO法人しろい環境塾	子どもたちの環境教育なども開催
白井環境ネットワークの会	地球温暖化活動に関する学習会などを開催
しろい まちがど美術館	落書き予防に壁画を作成
NPO法人せっけんの街 白井地区	環境学習の開催
東葛しぜん観察会	自然観察をしながら地域の自然を残そう
こいのぼり祭り実行委員会	広く地域の人々の憩いの場になるように
白井社会ボランティアの会 (SSVA)	学童通学安全パトロールに参加
アニマルフレンド	飼育のマナーや命の大切さを実感させる体験教室も開催
おもちゃ病院(白井)	おもちゃの修理・再生。ものづくり教室の開催を企画
ガールスカウト千葉第63団	少女たちが活動を通して多くの事を学び可能性を伸ばします
白井国際交流協会	身近な国際交流を通じて海外の人たちとの交流を深める
白井子ども劇場	舞台劇などの鑑賞とあそびなどの体験自主活動
人形劇まつり実行委員会	ちば県人形劇まつりの開催
しろいふるさとガイドの会	市内の文化財・名所旧跡の見学・自然散策をガイド
認定NPO法人日本ブルキナファソ友好協会	国際協力と食文化について学ぶ
ボーイスカウト印西白井1団	地域社会や国際社会に役立つ若人の育成
北総里山クラブ	里山を守り21世紀型のまちづくりを目指す市民団体の集まり

ガールスカウト千葉第63団の佐藤留美子さんの体験談

「地域の中で活動すること」

私とガールスカウトとの出会いは随分と前のことです。仕事をしながらボランティア活動をしていた時、リーダーだった友人が、ブルーの制服を着た少女たちを連れてやってきました。リーダーの指示のもと、明るく元気に集会をする少女たちが「ガールスカウト」ということを初めて知りました。そしてその姿は輝いて印象深く残っていました。

その後娘が小学2年の時に63団に入団し、お手伝いに行くたび、集会、野外活動には工夫がいっぱいあり（その当時からエコしていました）、楽しいゲームや歌、可愛いクラフトなど新しい発見に感動の連続でした。娘が学校と違う環境の中、リーダーと仲間と活動している姿は以前私が見た少女たちと同じでした。

ガールスカウトは「社会に役立つ少女と若い女性を育てること」が目的の社会教育団体ですが、この活動を続ける中で思うことは、地域とのかかわり無しでは決して活動は出来ないという事です。年間の集会の大半を白井市の緑豊かな自然の中で活動していますが、その自然も守っていかないと、汚れてしまい、消えてしまうことも知りました。そして、その自然を保全し、活かしている団体があることも知りました。折にふれ、活動されている団体や、地域の皆さんに助けられ、温かく見守っていただいていることを実感いたします。

少女たちも地域の中で活動する事で多くのことを学び、たくさん見守りの中で育てられています。またガールスカウトで出会った皆さんが素敵なお方ばかりで、子育てに追われていた私は教えていただく事ばかりでした。同じ白井市にいても学校や子どもの年齢が違ったり、生活圏が違ったり、なかなか出会う機会もないような方々とガールスカウトを通してたくさん知り合うことができました。もしかすると、ガールスカウトに入団した娘以上に私の方が大きな財産を頂いたのかもしれません。

市民活動推進センターに登録している団体はたくさんあり、所属されている皆さんはとてもパワフルで、生き生きとしています。私も皆さんを見習ってイキイキ、元気に活動していきたいと思っています。皆さんのご参加お待ちしております。

<韓国スカウトとの交流会>



野外活動は楽しいよ



右から2番目が佐藤留美子さん



海外研修報告

掲 示 板

景観を大切にしまちづくりを勧める北総セミナー

千葉県では、地域の財産である「景観」を次世代に引き継いでいくという理念を基本にした「景観条例」を制定（3月）しました。普及を目指し今回「里山景観」をキーワードにセミナーが開催されることになりました。

日ごろから里地里山を守るために活動している市民や団体等の交流の場として開催し、豊かで美しい里山を守るための課題や市民の役割について考えてみませんか？


日 時：9月20日（土）13時～16時30分

場 所：白井市文化センター・中ホール

基調講演：長谷川雅美さん（東邦大学理学部教授）

運営実施：景観・北総セミナー実行委員会

共 催：景観まちづくりフォーラム千葉協議会・千葉県



景観を大切にしまちづくりの北総セミナー
【平成20年度 景とNPOの協働事業】
一緒に話し合いをしませんか？
**未来に残したい
里山景観**
2008.9.20.土
PM1:00～4:30
白井市文化センター中ホール
参加費：無料

・基調講演：長谷川雅美さん（東邦大学理学部 教授）
・事例紹介：市民6団体の発表
・パネルディスカッション
—— 里山景観を守るための課題と市民の役割 ——
* 未来に残したい里山写真展

問合せ先：047-491-0660（上西）
主催 景観を大切にしまちづくりをすすめる北総セミナー実行委員会
景観まちづくりフォーラム千葉協議会、千葉県

北総線の運賃値下げを実現する会

北総線の運賃値下げを求める10万人署名が、平成20年8月26日に、谷垣禎一国土交通大臣に届けられた。北総線の運賃値下げを実現する会（北実会）が中心となり、沿線2市2村の協力を得て、集められた署名数は107,087に達した。

内閣改造等で少し遅れていた大臣への陳情は、A4ファイル25冊を5箱に詰めた署名を持参し、自民党の実川幸夫代議士の仲介でようやく実現した。陳情には、2市2村の首長、議会議長、及び党派を超えて自民、公明、民主、共産の国会議員、

並びに千葉県議会議員の皆さんが陳情団に加わり、総勢30名近くになった。これからの成田新高速鉄道の運賃申請に際し、現在の北総線の運賃を京成本線並みに値下げを求める陳情だった。大臣からは、運賃認可にしては、透明性と公正性は確保したい旨の談話があった。ここ1年が勝負時と思われる。先ず、第一歩を進めた。たくさんの方からの署名、ありがとうございました。（北実会・吉田治男会長・記）

NPO 法人しろい環境塾

「第2回運動公園の森保全事業」

日時：10月4日（土）10時～15時（雨天中止） 場所：運動公園の森 申込み：10月2日（木）まで

「水越庸夫&「田んぼの学校」里山スケッチ展」

日時：10月31日（金）～3日（月）の4日間 各日10時～15時 場所：旧平塚分校（白井市平塚）

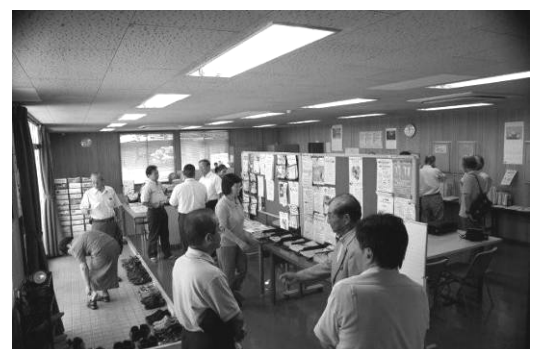
内容：水越庸夫氏（画家）の白井の里山スケッチ約20点 「田んぼの学校」の子どもたちのスケッチ約50点を校内に展示 「田んぼの学校」で子どもたちがつくった案山子を校庭に立て展示

問合せ：上西 047-491-0660

印西市市民活動支援センターを視察

現在市民活動推進センター運営委員会センター部会では、市民活動推進センターの管理・運営方法について調査・研究を進めており、8月7日（木）市民活動推進センター運営委員会と市民活動推進センター連絡協議会の合同で視察を行いました。

印西市では、センターの運営を市民活動団体の代表者等で構成する運営協議会により、市から委託を受け運営を行っています。



しろい市民活動まつり

平成20年12月7日(日)
白井市保健センター
(ウエルぶらっと)



団体と受講生のフリートーク



紙工作



活動紹介をする架け橋広場

昨年度は推進センター登録団体のうち38団体と、市民大学校(健康生活学部・シニア学部・まちづくり学部)の受講生の皆さんが講座の一環として参加し、来場者は350人を超えました。今年度も市民活動推進センター登録団体と市民大学生が主体となり、市との協働で開催します。市民大学校受講生の皆さんや地域の方々に市民活動・ボランティアの重要性や楽しさを伝え、架け橋になればと思っています。イベントを用意して皆様のお越しをお待ちしています。

「谷田の里山散策で白井の昔日を偲ぶ」

市民活動推進センター登録団体・交流会

親睦を深め、情報を交換しあい、今後の活動に協力の場を探ろうと市民活動推進センター登録団体が交流会を開催。6月28日うす曇りの朝、福祉センターに23団体75名が集まった。推進センター運営委員会事業部会の進行で、参加団体の紹介があり、最新の活動情報が報告された。北総里山クラブの矢野眞理さんからは、「開発にともなって自然が失われていくスピードが早まり、白井の里山のこれからが心配」とのコメントがあり、この後の里山散策への関心を持つ呼び水となった。堀澤三千男さん(しろいふるさとガイドの会)、平尾信三さん(森林インストラクター)のガイドで、1グループ10人ほどの6グループに分かれて散策がはじまった。見学ポイントは、宗像神社、沢山の泉。国道からはずれた畑、林の奥に古色蒼然とし社がたたずむ。社を囲んだ木彫は江戸時代後期の職人仕事で、彫刻された浦島太郎、富士山、鯉の滝登り等々。辺りは落葉も重なり、手入れが充分とは見えない。沢山の泉は、うっそうとした森の中、じめじめした落葉の先に湧き水の小さな池。中央に草薙神社がひっそり。福祉センターに引き返し、希望者のみ追加の散策。清戸の泉、牧の土手跡を目指す。ガイドさんの話を聞き、過ぎた日の白井に想いをはせ、開けた広場での昼食。なごやかに交流の場ともなった。白井に残された文化遺産と自然環境をどのように次代に引き継ぐか、引き継いで行けるのか、を考える交流会であった。(田中英紀・記)



柳田幸節さん逝く 平成20年7月初旬、同氏の逝去の報に接し、深い哀悼の意を表します。美しい街への情熱を持ち、先に取り組んでいたN氏・F氏に合流する形で、柳田さんは、白井駅周辺にポイ捨てされた吸い殻、紙ゴミ、ポリ袋を拾うことから始められた。当初、人目を避けて早朝に行われていたが、一念発起し、往来の多い時間帯に移し、数年に亘って根気強くつづけられ、住民への理解を深めて行かれた。更に、氏はこの運動を白井駅前自治会組織の中に組み入れ、地域全体の運動にまで育て上げ、併せて、～街をきれいにする歌～をつくるなど、街の美化活動に貢献された。同氏の活動は数多くの市民団体に勇気と刺激を与えました。同氏の冥福を祈ります。(吉田治男・記)

編集後記

暑い日が続く毎日で、涼しさが待ち遠しい。みなさま、お元気でしょうか。市民大学校の公開講座(8月2日)は、「白井のブランドづくり」がテーマでした。白井の里山は環境塾を中心に活動が展開されていますが、さらに「白井ブランド」として確立する意欲を持ってはどうでしょう。複数団体のコラボレーションも期待して。

2008年9月発行/白井市市民活動推進センター
白井市堀込 1-2-2 TEL: 498-0705
E-mail: npo-461@bz01.plala.or.jp